



西岡 恵子 議員

### 財政の健全化、財源の確保について

過去の議会で石川町長は「一番大切なのは財政再建。財政がしっかりしていなければものも事業も実行出来ない。夢も語れない。第一に取り組む。」と答弁されている。財源確保の点から収入状況・自主財源の確保についてお尋ねしたい。また、滞納者に対する取り組みについては。

### 平成十八年度税収、前年度を上回る見込み

平成十九年度には三位一体改革に伴う税源移譲等により税収は更に増加すると思われるが、地方交付税は厳しく見直され減額される見込みである。自主財源として町税の重要度も増し、その厳正、公

平な執行がこれまで以上に求められてくる。滞納整理の法的措置の執行や徳島滞納整理機構により効率的な処理を進めたい。

### 学校給食について

昨年よりの地元産米による米飯給食の教育的効果について。また、平成十八年度の努力目標の中に、地域と連携し、子供の食育の充実をはかり地産地消の推進とあるが、この取り組みにおける食物アレルギーの児童生徒への対応は。

### 地産地消推進事業推進モデル地域に指定

副食材料の地産地消については、年間を通しての供給等の問題もあり実現に至っていないのが現状である。

食物アレルギー児童への現在の対応は、事前に保護者へ献立表を通知し、それを参考にそれぞれに合った対応をしていただいている。

### 文化の振興・国民文化祭準備について

来年十月二十七日から十一月四日に開催される国民文化祭の準備はどのように進められているのか。町民の文化意識の向上につながる、学校教育においても郷土文化の再認識になると考える。積極的取り組みをお願いしたい。

### 町民総参加の祭典として

来年度開催される国民文化祭は、広く町民に協力、参加をいただきたい。参加方法等については現在、企画委員会です案をまとめる段階であり、十分検討していききたい。

### 子育て支援と幼保一元化について

昭和五十年より本町独自の幼保一元化は他自治体

異なる施策であるか。今後の展望についてお尋ねしたい。本町の子育て支援はかなり充実しているが保育の低年齢化、長時間化も増加傾向ではないかと心配している。子供を親に返す方策、子育て中の親の孤立化の防止等、今後ますます保育所・幼稚園・ファミリーサポートセンター・児童館の連携が重要と考えるがいかがか。

### 数々の制度を住民の方が利用されている

幼保一元化の今後の展望は、行財政改革との関連があるが、良い点は継続していく方向で考えている。

また、保育所で開放保育を行っているが、今後の課題は、保護者に子育ての大切さ、子育てが大きな仕事であり、本当に素晴らしいと認識していただけることの手助けであると考えている。

### ゴミの発生排出抑制について

ゴミの減量化は三R（リデュース・リユース・リサイクル）と分別の徹底である。燃やせるゴミの内、紙くず類（雑紙）は何パーセントを占めているのか。これを資源化することは減量化につながるかと考える。

また、事業系ゴミの分別は出来ているのか。燃やせないゴミの内、プラスチック、ビニール類等が多いが収集日を増やせないか検討をお願いしたい。

### 雑紙は可燃ごみ全体の約三五パーセント

雑紙を分別化し、リサイクルすることでごみの減量化に大きな成果を上げることが予想される。住民の協力が必要であり、今後、検討していききたい。

事業系ごみは、分別



雑誌リサイクル役場内での取り組み

の状況が非常に悪い。許業者者に対し文書で指導する予定で進めている。

燃やせないゴミの収集日の増加は、収集体制等の問題はあるが、今後、燃やせないごみが増加していけば、慎重に検討していききたい。

### エコスタイルについて

昨年度の実績と今年度の目標について。また、県ではエコスタイルに藍染め製品を取り入れているようだが本町での取り組みについてお尋ねしたい。

### 昨年同様、温暖化防止に努めたい

平成十七年度の電気使用料と昨年度を比較すると約二〇〇万円の減額となっている。本年度における数値目標の設定は、気温の関係もあり困難であるが、昨年と同様エコスタイルを実施し、温暖化防止に努めたい。

藍染めについては、今後も更に意識の向上を図り、PRに努めて参りたい。